

令和7年度 園 経 営 に つ い て

1 教育目標

心豊かで生き生きと生活を楽しむ幼児の育成

2 めざす幼児像

- 明るく元気な子ども
- やさしく思いやりのある子ども
- 自分で考え、行動する子ども

3 めざす幼稚園像

- 一人一人の幼児が、安心して自分らしさを発揮できる幼稚園
- 明るく、楽しさと活気に満ちた幼稚園
- 幼児と教師が共に「遊ぶ・学ぶ・育つ」幼稚園
- 自然に親しみ、地域を愛する幼児が育つ幼稚園

4 経営の方針

- (1) 同和教育を全ての保育活動の基底に据えて取り組み、教職員の人権意識を高め、差別をなくす実践力を養う。
- (2) 遊びを中心とした生活を通して、一人一人の子どもの特性に応じた総合的な指導を行い、基本的な生活習慣の確立、生きる力の基礎を培う。
- (3) 園生活において安心・安全を常に保ち、危機管理を徹底する。必要に応じて、保護者にはマメール・文書などで情報を提供し、連携して子ども達の生活を守る。
- (4) 『わくわく畑』や『一人一鉢』の活動を通して、野菜や植物の世話、収穫等や、小動物や昆虫などの生き物との出会い等、自然に親しみ、生命を慈しむ機会を大切にし、豊かな心を育む。
- (5) 『パワフルタイム』の活動や園外保育、年齢、発達に応じた運動遊びの充実を図り、体を動かす楽しさ、心地よさを味わう中で、たくましい体作りに努める。
- (6) 外国にルーツのある園児については、言語・生活習慣・行動様式の実態を把握し、誰にとっても安心して生活できるような環境や関係作りをする。また幼児同士ふれ合う中で互いの違いやよさに気づいたり、受け入れたりして認め合う関係になるよう支える。
- (7) 家庭・幼稚園をはじめとし、塩冶地区、身近な「ひと・もの・こと」の出会いを大切にした特色のある園経営に努める。小学校、近隣保育園、中学校等教育機関、未就園「いちご教室」等のかかわりやふれあいが喜べるように活動を工夫する。
- (8) 一人一人の教職員が確かな教育理念をもち、自己研修を積み重ねると共に、教職員間での話し合い、学び合いの機会を大切にし、資質の向上に努める。